



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月7日

上場会社名 株式会社リグア 上場取引所 東
 コード番号 7090 URL https://ligua.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大浦 徹也 TEL 06 (7777) 0159
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | EBITDA | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|--------|------|------|------|------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 1,965 | △22.3 | △281 | — | △463 | — | △476 | — | △389 | — |
| 2022年3月期第3四半期 | 2,529 | 33.5 | 340 | 23.5 | 195 | △8.8 | 188 | △9.5 | 96 | △28.2 |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △390百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 96百万円 (△28.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | △277.31 | — |
| 2022年3月期第3四半期 | 69.09 | 67.47 |

(注) 1. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

2. 2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 3,882 | 738 | 19.0 |
| 2022年3月期 | 3,279 | 1,144 | 34.9 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 736百万円 2022年3月期 1,144百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年3月期（予想） | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-------|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,764 | △13.7 | △461 | — | △480 | — | △316 | — | △225.76 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2023年3月期3Q | 1,415,800株 | 2022年3月期 | 1,415,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期3Q | 15,689株 | 2022年3月期 | 4,790株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2023年3月期3Q | 1,403,322株 | 2022年3月期3Q | 1,400,049株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明内容の入手方法)

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載いたします。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から決算説明会の開催を中止いたしますが、代表取締役社長による決算説明の動画を当社ウェブサイトにて配信する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和されつつあるものの、世界的な原材料価格の高騰、半導体供給不足の影響等から先行き不透明な状態が続いております。また、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の高騰や急激な円安進行の影響などから先行きにも不透明感が強まりました。

当社グループが主要市場とする接骨院業界におきましては、接骨院数の増加に伴う他院との差別化、柔道整復療養費の減少に伴う経営の悪化、新規出店に伴う資金及び人員(有資格者)の確保、人員の増加に伴う教育制度の構築、接骨院オーナーの老後資金の確保等、様々な経営課題が発生しております。

このような状況の中、当社グループの接骨院ソリューション事業では、接骨院に対して経営・運営における様々な問題(売上の減少、資金難、経営戦略不全、教育制度の未整備等)に対するソリューションの提供を行ってまいりました。しかし、世界的な半導体の供給不足により、主要機材の仕入に一部遅れが生じており販売に影響が出ました。また、血行促進による疲労回復・筋肉の疲れやこりの緩和等の使用効果が期待できるヘルスケアブランド

「Dr. Supporter」の使用効果を多くの方々に体感していただくためのサンプリングや商品認知度を高めるための広告施策及び営業人員の積極採用を行ったこと等で販売費及び一般管理費が増加しました。

金融サービス事業のIFA(金融商品仲介業)では、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締め等により、マーケットが軟調に推移した影響から前年同期に比べ減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高1,965,152千円(前年同期比22.3%減)、営業損失463,459千円(前年同期は195,653千円の営業利益)、経常損失476,729千円(前年同期は188,941千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失389,166千円(前年同期は96,740千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<接骨院ソリューション事業>

ソフトウェアでは、接骨院向け患者情報管理システム「Ligoo POS & CRM」とレセプト計算システム「レセONE」の機能を併せ持った「レセONEプラス」の販売が堅調だったことや日本ソフトウェア販売㈱の売上寄与等により、売上高は354,556千円(前年同期比11.7%増)となりました。

機材・消耗品では、接骨院での自費施術メニューの拡大をサポートする為のツールである機材について、世界的な半導体の供給不足により、主要機材の仕入に一部遅れが生じており機材販売に大きな影響が出ました。また、ヘルスケアブランド「Dr. Supporter」の販売に注力し堅調に推移したものの、前年同期と比べ減収となり、売上高は365,286千円(前年同期比60.6%減)となりました。

教育研修コンサルティングでは、新規利用者のWeb集客を目的としたWebコンサルティング及び顧客毎の需要に合わせた年単位など一定の契約期間を基本とする継続型のコンサルティングを行いました。また、接骨院の幹部または幹部候補者等向けの研修プログラム「GRAND SLAM」や経営者向けの「経営実践塾」等を展開したこと等により、売上高は460,354千円(前年同期比15.1%増)となりました。

請求代行では、接骨院等における事務負担の軽減を目的とした療養費請求代行サービスを展開し、新規顧客開拓を行い会員数が増加しました。また、2022年7月より療養費早期支払サービスを開始したことにより、売上高は223,371千円(前年同期比15.0%増)となりました。

今後の成長に向けた先行投資(人材、広告宣伝、設備等)を行った結果、販売費及び一般管理費が大幅に増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,403,569千円(前年同期比23.6%減)、営業損失は386,545千円(前年同期は181,582千円の営業利益)となりました。

<金融サービス事業>

保険代理店では、オンライン営業にて募集行為を行ったほか、接骨院ソリューション事業において構築された接骨院ネットワーク及び提携先からの紹介等により生命保険及び損害保険の販売を行った結果、売上高は328,159千円(前年同期比9.1%増)となりました。

IFA(金融商品仲介業)では、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締め等により、マーケットが軟調に推移した影響から前年同期に比べ減収となり、売上高は227,720千円(前年同期比41.2%減)となりました。

その他では、一般事業会社の財務コンサルティングを受託したことにより、売上高は5,703千円(前年同期比70.2%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は561,582千円(前年同期比18.8%減)、営業損失は76,914千円(前年同期は14,071千円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は3,882,534千円となり、前連結会計年度末と比べ602,816千円の増加となりました。

流動資産は2,678,922千円となり、前連結会計年度末と比べ550,337千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が54,202千円、売掛金が110,641千円減少したものの、営業貸付金が508,216千円、商品が90,438千円、リース債権及びリース投資資産が90,463千円増加したことによるものであります。

固定資産は1,203,611千円となり、前連結会計年度末と比べ52,479千円の増加となりました。これは主に、本勘定振替によりソフトウェア仮勘定が116,640千円減少したものの、工具、器具及び備品が38,766千円、ソフトウェアが32,038千円、繰延税金資産が104,485千円増加したことによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,144,321千円となり、前連結会計年度末と比べ1,009,277千円の増加となりました。

流動負債は1,950,158千円となり、前連結会計年度末と比べ904,415千円の増加となりました。これは主に、未払消費税等が34,602千円減少したものの、短期借入金677,000千円、1年内返済予定の長期借入金が69,477千円、預り金が185,491千円増加したことによるものであります。

固定負債は1,194,163千円となり、前連結会計年度末と比べ104,861千円の増加となりました。これは主に、長期借入金が103,412千円増加したことによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は738,212千円となり、前連結会計年度末と比べ406,460千円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を389,166千円計上したこと及び自己株式の取得等により18,691千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月8日付にて「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

2023年3月期の通期業績予想につきましては、世界的な半導体の供給不足による主要機材の入荷見通しが不透明な状況ではありますが、第3四半期連結累計期間においては想定範囲内の数値であることから、2022年11月8日付にて公表いたしました通期の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,381,575 | 1,327,373 |
| 売掛金 | 296,253 | 185,612 |
| 営業貸付金 | — | 508,216 |
| 商品 | 190,667 | 281,106 |
| 貯蔵品 | 25,835 | 1,349 |
| リース債権及びリース投資資産 | 151,006 | 241,470 |
| その他 | 83,732 | 134,364 |
| 貸倒引当金 | △487 | △570 |
| 流動資産合計 | 2,128,585 | 2,678,922 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物附属設備 | 88,722 | 108,116 |
| 減価償却累計額 | △27,632 | △30,955 |
| 建物附属設備(純額) | 61,089 | 77,160 |
| 車両運搬具 | 18,161 | 18,161 |
| 減価償却累計額 | △16,359 | △17,452 |
| 車両運搬具(純額) | 1,802 | 709 |
| 工具、器具及び備品 | 93,438 | 132,205 |
| 減価償却累計額 | △47,219 | △64,993 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 46,219 | 67,212 |
| 建設仮勘定 | 8,145 | 4,887 |
| 有形固定資産合計 | 117,257 | 149,969 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 632,931 | 664,970 |
| ソフトウェア仮勘定 | 131,940 | 15,300 |
| 顧客関連資産 | 17,733 | 12,033 |
| のれん | 165,945 | 149,051 |
| その他 | 603 | 1,007 |
| 無形固定資産合計 | 949,154 | 842,363 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 34,823 | 139,308 |
| その他 | 52,791 | 75,408 |
| 貸倒引当金 | △2,894 | △3,438 |
| 投資その他の資産合計 | 84,720 | 211,278 |
| 固定資産合計 | 1,151,132 | 1,203,611 |
| 資産合計 | 3,279,717 | 3,882,534 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 27,607 | 14,502 |
| 短期借入金 | — | 677,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 436,543 | 506,020 |
| 未払金 | 137,062 | 119,451 |
| 未払費用 | 72,505 | 89,777 |
| 未払法人税等 | 20,925 | 7,705 |
| 未払消費税等 | 42,687 | 8,085 |
| 契約負債 | 9,517 | 37,554 |
| 預り金 | 275,575 | 461,066 |
| 賞与引当金 | 16,576 | 18,182 |
| その他 | 6,742 | 10,811 |
| 流動負債合計 | 1,045,742 | 1,950,158 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,069,646 | 1,173,058 |
| 資産除去債務 | 18,656 | 20,970 |
| 繰延税金負債 | 999 | 135 |
| 固定負債合計 | 1,089,302 | 1,194,163 |
| 負債合計 | 2,135,044 | 3,144,321 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 476,397 | 476,397 |
| 資本剰余金 | 395,364 | 395,364 |
| 利益剰余金 | 284,022 | △105,736 |
| 自己株式 | △11,111 | △29,802 |
| 株主資本合計 | 1,144,672 | 736,223 |
| 非支配株主持分 | — | 1,989 |
| 純資産合計 | 1,144,672 | 738,212 |
| 負債純資産合計 | 3,279,717 | 3,882,534 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 2,529,169 | 1,965,152 |
| 売上原価 | 1,231,735 | 1,100,121 |
| 売上総利益 | 1,297,434 | 865,030 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,101,780 | 1,328,490 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 195,653 | △463,459 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7 | 5 |
| 受取賃貸料 | 553 | 307 |
| 助成金収入 | 2,272 | 1,266 |
| その他 | 35 | 577 |
| 営業外収益合計 | 2,868 | 2,157 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,513 | 11,777 |
| 株式報酬費用消滅損 | 2,031 | 3,349 |
| その他 | 36 | 299 |
| 営業外費用合計 | 9,581 | 15,426 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 188,941 | △476,729 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 37 |
| 特別利益合計 | — | 37 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,125 | 1,503 |
| 和解費用 | 31,171 | — |
| その他 | — | 26 |
| 特別損失合計 | 32,296 | 1,530 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 156,644 | △478,221 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 55,978 | 17,305 |
| 法人税等調整額 | 3,925 | △105,349 |
| 法人税等合計 | 59,903 | △88,044 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 96,740 | △390,177 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | — | △1,010 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 96,740 | △389,166 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 96,740 | △390,177 |
| 四半期包括利益 | 96,740 | △390,177 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 96,740 | △389,166 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | △1,010 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|--------------|----------|-----------|----------------------------|
| | 接骨院ソリューション事業 | 金融サービス事業 | 計 | |
| 売上高 | | | | |
| ソフトウェア | 316,192 | — | 316,192 | 316,192 |
| 機材・消耗品 | 793,759 | — | 793,759 | 793,759 |
| 教育研修 コンサルティング | 400,073 | — | 400,073 | 400,073 |
| 請求代行 | 194,154 | — | 194,154 | 194,154 |
| 保険代理店 | — | 300,649 | 300,649 | 300,649 |
| IFA (金融商品仲介業) | — | 387,330 | 387,330 | 387,330 |
| その他 | — | 3,350 | 3,350 | 3,350 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,704,179 | 691,330 | 2,395,510 | 2,395,510 |
| その他の収益 (注) 1 | 133,659 | — | 133,659 | 133,659 |
| 外部顧客への売上高 | 1,837,838 | 691,330 | 2,529,169 | 2,529,169 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — |
| 計 | 1,837,838 | 691,330 | 2,529,169 | 2,529,169 |
| セグメント利益 | 181,582 | 14,071 | 195,653 | 195,653 |

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア売上、機材・消耗品売上のリース取引によるものです。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|--------------|----------|-----------|----------------------------|
| | 接骨院ソリューション事業 | 金融サービス事業 | 計 | |
| 売上高 | | | | |
| ソフトウェア | 321,561 | — | 321,561 | 321,561 |
| 機材・消耗品 | 275,705 | — | 275,705 | 275,705 |
| 教育研修 コンサルティング | 460,354 | — | 460,354 | 460,354 |
| 請求代行 | 223,371 | — | 223,371 | 223,371 |
| 保険代理店 | — | 328,159 | 328,159 | 328,159 |
| IFA (金融商品仲介業) | — | 227,720 | 227,720 | 227,720 |
| その他 | — | 5,703 | 5,703 | 5,703 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,280,993 | 561,582 | 1,842,575 | 1,842,575 |
| その他の収益 (注) 1 | 122,576 | — | 122,576 | 122,576 |
| 外部顧客への売上高 | 1,403,569 | 561,582 | 1,965,152 | 1,965,152 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — |
| 計 | 1,403,569 | 561,582 | 1,965,152 | 1,965,152 |
| セグメント損失(△) | △386,545 | △76,914 | △463,459 | △463,459 |

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。